

ケナシシナノキ

Tilia japonica (Miq.) Simonkai
var. *leiocarpa* Nakai

シナノキ科
Tiliaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (九重火山群)

分布域 本州(中国), 四国, 九州(大分)

生育環境 低山地の林内。

現 状 九州では「九重火山群」で採取されたことがあるが、以後、その生育地は確認されていない。

ツクシボダイジュ

Tilia rufo-villosa Hatusima

シナノキ科
Tiliaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IA

選定理由 県内の狭い範囲に生育する特産種。繊維植物として大切に護り育てられてきたが、利用されることが少なくなり、耕地や家屋の陰にもなることから伐採されることが多く、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 九重火山群

分布域 九州(大分)

生育環境 丘陵地や低山地の林縁，耕地の周辺。

現 状 九重の南北丘陵地におよそ100本ほどが残っている。実生苗がほとんどみられず，減少が続いている。

備 考 基準標本産地 [九重町笠口]。県指定天然記念物「久住のツクシボダイジュ」(久住町)。

ハマボウ

Hibiscus hamabo Sieb. et Zucc.

アオイ科
Malvaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 四国，九州などを分布域とする。本県では主に海岸の河川汽水域に生育する。港湾改修や河川改修などにより，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 周防避海岸，姫島・国東海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域

分布域 本州(神奈川以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
韓国(済州島)

生育環境 海岸の泥地や河川汽水域の泥地。

現 状 「別府湾沿岸域」では，河口付近の港湾工事や河川改修などにより，消滅した所が多い。河川改修工事に伴い，保護対策を講じている所がある。

備 考 国立・国定公園指定植物 [瀬戸内海，日豊海岸]